

第17回神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール

優秀賞

清風南海高等学校3年

高村翔愛さん

『しずかに、そっと』

しずかに、そっと、ね。

いけのみずみたいに じっとしてごらん。

ほら、おさかなが およいでいくよ。

くものあいだや、みずくさのあいだをね！

ぐうぐうぐう、、、

おひさまをあびて おひるねしている、

ちいさな カタツムリみたいに じっとしてごらん。

ほら、カタツムリのかげが のびていく。

ながく

ながーーく

なが————く、、、

（あちゃあ のびすぎちゃった！）

みて、みて！

あそこの せのたかい くさのあいだで なにかが うごいているよ。

じっとして、ゆっくり、ゆっくり。

あわてちゃだめだよ。

ハスのはっぱから

かげが すべりおちたのが みえた？

あら、はずかしがりやの ちいさなカメさんだ！

ちいさな オレンジいろの スケートぐつをはいているよ。

カメが スケートを するかって？

うん、とっても じょうずなんだ。

だけど スピードスケートのレースで いちばんになるのは むずかしいかもね！

こんにちは！

やあ！

こんどは、きのうえのはっぱを みあげてみよう。

そよかぜに ふかれて、ゆらゆら ゆれているのが みえる？

はっぱが うごくおとが きこえる？

えだから はなれてとびだしていくおとが きこえる？

ひゅうううーい！

はっぱの むこうに ひろがる そらは どうだろう？

もしも そらに うたがあったら、どんなふうに うたうとおもう？

ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

しずかに、そっと、ね。

おさらのなかの くだものみたいに じっとしてごらん。

そうしたら、シャキシャキの なつりんごが

ふんふんと うたうのが きこえるかも。

ようなしが おはなしを はじめるかもね！

じつは バナナも

うたが とっても じょうず。

きいろ、オレンジ、ピンク、それから あおのあまいうたを うたうんだ！

しーーーーっ、しずかに、そっと、ね。

ねずみ みたいに しずかに……

そうしたら

ちっちゃな ねずみたちの あしおとが トントんって きこえるかも。

おうちをぬけて

とおりへおどりだしていくよ。

すーすーすー

しずかに、そっと、ね。

ねむっているときの、からだみたいに じっとしてごらん。

そうしたら しんぞうが うごいているのを かんじるよ。

しんぞうは いつだって おきていて うごいてる。

トクン トクン、トクン トクン！

こんなのは どう？

「なんにも ないこと」を、きくことはできる？

しずかな、じっとした じかんのなかにも、たしかに なにかが ある。

、、、それは、きみかな？

しずかに、そっと、ね。

よあけのときに じっとしてごらん。

そうしたら あさのうたが きこえてきて、おひさまのひかりを かんじるよ。

こんどは、たちどまって くんくんしてみよう。

どんなにおいがするかな？

このえほんの ページのにおい？

それとも いぬの おくちのにおい？

いぬのおくち！？

やっほー！

いぬにとっては、においはみんなちがって とくべつ。

だから、とおりで きみにあっても、すぐにきみだと わかるんだ。

きみは どんなにおいが するのかな？

はるになったら

ザーザーふる あめのにおいや、

まいあさ めをさます おはなたちの においが するかな？

あまく、ゆっくり、ね。

みつばちの はちみつみたいに。

そうしたら みつばちが

おひざで ちゃんと ふれる

ぜんぶのおはなの あじがする。

ミント

ひまわり

みつばちを だいに

ラベンダー

キンギョソウ

ブルーベル

きを だいに

ポピー

だって、なんぜんもの おはなから、

いちじかに なんびやくもの おはなから あつめないと

おうごんの あまいはちみつの スプーンひとさじぶんには ならないんだから！

さあ、ちょっとのあいだ、

くさのうえに すわっているのを そうぞうしてみよう。

はじめは みどりしか みえないけれど、

よくみると、アリさんがいる。

1ぴき、2ぴき、3ぴき、4ぴき。

あっ、きがつくと

もっと もっと たくさん いる！

てんとうむしや、ナメクジ、

ひらひらとぶ ちょうちょも みつかる。

みあげれば とりたちがいて、

そらのなかで うたをうたっている。

おかおにあたる おひさまが あたたかくて、

さいている おはなの においが する。  
きみは ここでは とっても おだやかで、 ゆったりしたきぶん。  
ほんのすこしのあいだでも、 なんじかんでも。

このばしょには、 いつでも すきなときに いける。  
ただ、 しずかに、 そっとしてみて。  
（そう、 きみのことだよ！）  
そうしたら こころのなかに みつかる。

だから、 カタツムリやカメみたいに ゆっくりいくのを、 わすれないで。  
そうすれば、 きっと わかるよ。  
ぜんぶが じっとしていて、  
そして うごいているんだって。  
ちょうど、 きみみたいに！

きみは りんごみたいに くちずさんでいる。  
きみは ねずみみたいに おどっている。

きみも このすばらしい いのちの いちぶなんだ！